

総会・懇親会 出席者名簿

来賓



土浦一高 校長
市村 仁 様



進修同窓会副会長
青山 和義 様



茨城県東京事務所
菊地 道雄 様

特別講演



鈴木 貴美子
(昭55)

准会員 会員



片岡 弘安(昭16)



竹島 節三(昭16)



大津 一郎(昭20)



大塚 保(昭20)



狩谷 孝雄(昭20)



酒寄 和郎(昭20)



高野 孝(昭20)



田中 和夫(昭20)



廣瀬 琢朗(昭20)



山口 進(昭20)



渡邊 光夫(昭20)



木島 幸夫(昭24)



酒寄 恵行(昭24)



砂山 嘉幸(昭24)



川村 博通(昭27)



坪井 洋(昭27)



砂川 憲二(昭28)



井坂 正(昭31)



色川 嘉一(昭31)



大野 金一(昭31)



菊地 清(昭31)



高野 久弘(昭31)



田村 恒(昭31)



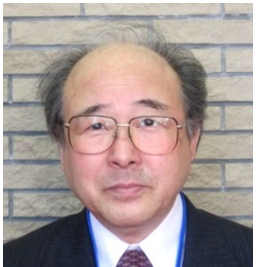
中本 青士(昭31)



蓮 幸治(昭31)



水越 勝雄(昭31)



武藤 明(昭31)



山田 晴康(昭31)



山本 嘉子(昭31)



渡辺 隆(昭31)



服部 彥雄(昭32)



沼里 征二(昭33)



糸賀 勲(昭34)



小松崎 勇(昭43)



菊田 佳幸(昭36)



若山 宏(昭36)



中村 孝雄(昭37)



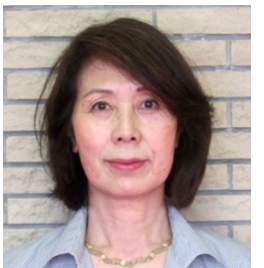
北川 正之(昭37)



矢口 照雄(昭37)



上野 健夫(昭38)



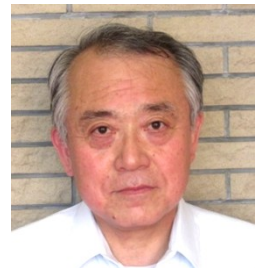
野村 ルナ(昭38)



鈴木 達(昭39)



池和田 暁(昭40)



伊藤 勝(昭40)



鮎川 宏一(昭40)



廣瀬 巳良(昭40)



相澤 興二(昭41)



飯塚 泰助(昭41)



今泉 房子(昭41)



河合 隆(昭41)



中島 良平(昭41)



長戸 琴(昭41)



野口 卓男(昭41)



初田 正雄(昭41)



久松 信明(昭41)



安井 恵子(昭41)



柳沢 道弘(昭41)



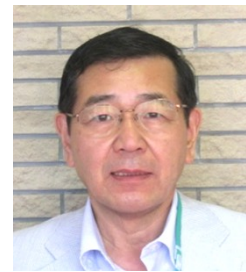
山岡 憲(昭41)



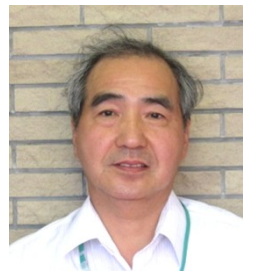
山村 章(昭41)



常山 浄子(昭43)



中座 恒夫(昭43)



中島 敏勝(昭43)



中村 洋子(昭43)



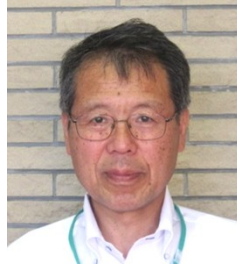
幕内 邦夫(昭43)



光永 研一(昭43)



宮崎 好廣(昭43)



柳沢 成二(昭43)



渡邊 慎一(昭43)



大関 享(昭44)



岡崎 孝宣(昭44)



斉藤 泰雄(昭44)



逆井 誠(昭44)



永井 博(昭44)



渡辺 良治(昭44)



井野万里子(昭45)



鈴木 良治(昭45)



小野 幹夫(昭46)



井坂 公明(昭48)



神立 哲男(昭48)



君山 利男(昭48)



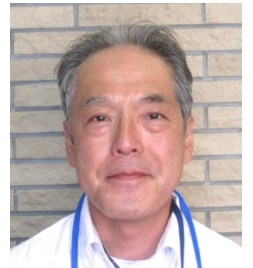
柴原 至(昭48)



福島 郁夫(昭48)



本橋 浩道(昭48)



矢口 泰士(昭48)



吉田 正史(昭48)



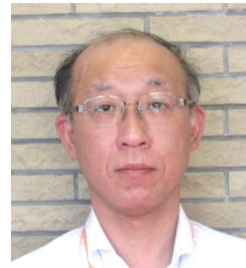
石井 稔(昭49)



内田 敬子(昭50)



小野村敏之(昭50)



加藤 祐司(昭50)



花上 克宏(昭50)



藤田加奈子(昭50)



星川美代子(昭50)



大和田 満(昭53)



箱守 知己(昭54)



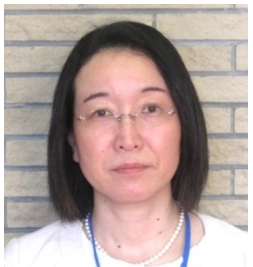
櫻井成一朗(昭55)



酒井 学雄(昭56)



宮川 祐一(昭56)



大久保祐子(昭57)



柏瀬 孝子(昭57)



奥田 夏樹(昭63)



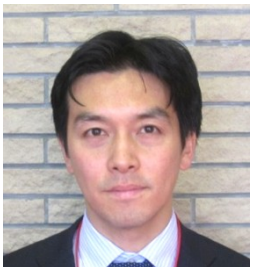
吉田 和則(平3)



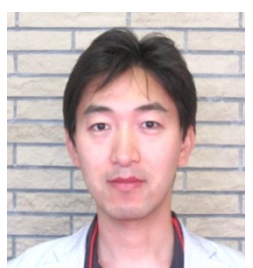
酒井 洋幸(平3)



伊東 明彦(平5)



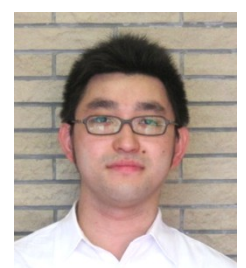
五十嵐朝青(平6)



岩崎 明彦(平6)



白鳥 玲子(平6)



羽崎 友康(平6)



菱沼 邦夫(平6)



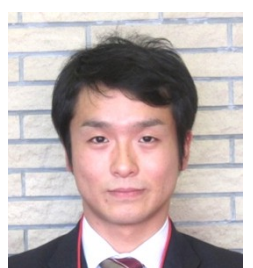
堀越 智也(平6)



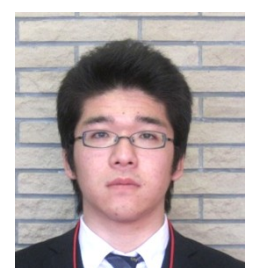
青木 智典(平7)



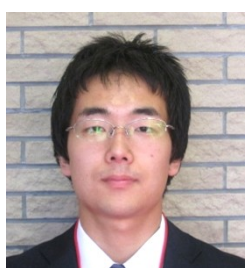
緒方 浩一(平7)



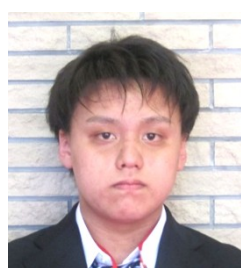
青山 大人(平9)



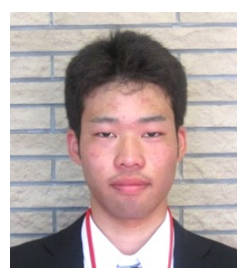
中島 克典(平19)



柴沼 肇(平20)



片倉 元(平21)



工藤 大彰(平21)



富岡 宏隆(平21)



内藤 雅之(平21)

寄稿



星川 美代子
昭和 50 年卒

子どもの居場所はどこに？

自分の子ども（二男二女）にも、英語を教えることができれば、という思いがあり、川崎大師の地で、18 年前に幼児・小学生対象のフランチャイズの英語教室を開きました。長男（現在 26 歳）の同級生が大勢来ていた頃は、親たちも非常に熱心でした。英語の暗唱発表会や遠足、国際キャンプ、クリスマスパーティー、ハローウィーンパーティーなど異文化に触れるイベントに多数の協力を得ることができました。両親で積極的に参加してくれる家庭が多かったことが心に残っています。

自分の子どもの年齢が上がってくるに従って、英語教室ではなく、英語と数学（テストの前には全教科）を中高生に教えるようになりました。ここ数年通ってくるのは、公立中学校での成績が中の下くらいの子どもが多く、半数以上が片親家庭です。クラスでも約半数が片親家庭だと聞いています。子どもは誰もいない家で、夜遅くまで一人で過ごします。一人では寂しいので、24 時間営業のコンビニエンスストアやゲームセンター、カラオケ、公園で時間をつぶすようになります。次第に同じ境遇の間ができ、深夜の町を歩き回るようになっていくのです。親は、高校進学に必要なの

で、学校の勉強に興味はあるものの、自分の仕事や生活で忙しく、子どもの話をゆつくり聞いたり、面倒をみる時間もないのが現状です。子どもは強がりを言っているても寂しがり屋です。

それでも部活動を熱心に行っている生徒は、疲れて帰宅することが多く、外で遊びまわることもあまりありません。しかし、先生とそりが合わなかったり、いじめられたり、親が深夜まで働いているため、朝起きることができないといった理由で、部活動をやめてしまう生徒もいます。子どもが学校に行く前に家を出なければならぬので、学校に行ったかどうか分からない親もいます。子どもは朝寝坊し、学校を遅刻や欠席してしまうわけです。学校からの連絡で、親は子どもが学校に行っていないことを知ることになります。前述したように、夜は寂しいので、外に遊びに行き、朝起きることができないので、学校に行きたくない、行くことができないという悪循環になってしまいます。

最近の気になる生徒の声です。

「学校でもうちでも、まったく話をしないので、ここに来て話をするのが唯一の息抜きだよ。」

「勉強だけでなく、いろいろな話を聞いてくれる大人がいないので、ここに来て思う存分話することができるとだ。」

「うちでは他の兄弟や、親のテレビの音が、うるさくて勉強ができないので、少しでも長い時間ここにいて勉強したい。」

「晩御飯はコンビニで買って済ませていいよ。親もあまり食べないし。」

学力のある、勉強のできる生徒を除いては、小学校 5、6 年生の算数がよく理解されていません。特に、分数、小数、割合、文章題が苦手です。中学生になっても、この種の問題が出てくると初めから、解答するのを放棄する生徒が目立ちます。また、英語も中学一年の夏休みが終わると、英語嫌い、よく分からないという生徒が半数近くになります。日本語の文法にはない、複数の概念、三人称単数現在で躓いてしまうようです。勉強がよくわからないことも、学校に行きたくない原因の一つにもなっています。結局、こういった子どもたちは、高校に行っても、授業内容は高度になつていくのに、まったく基礎がわからないため、留年や中退といった道を歩んでしまします。

小学校のわからないところまで戻って、わかるまで勉強を教えてくれたり、自分の気持ちをやつくり聞いてくれたりする「**居場所**」を探している子どもたちが多いような気がします。子どもには、夜は誰か大人がそばにいて、御馳走でなくても、手作りの晩御飯を食べて、落ち着いた環境で本を読んだり、勉強したり、話したりする「**居場所**」が必要です。片親家庭が増えてしまった現実から目をそむけることなく、より複雑化した社会に子どもの「**居場所**」を作つてあげることが私たち大人の役目であるのではないのでしょうか。

自分の子どもはもう育ってしまったから良いのではなく、社会の宝物である子どもを豊かに育てていくことが、日本の将来

にも少なからず影響してくるものと思われまます。私たち大人が、知恵を出し合つて、子どもがいつでも、好きなときに、気兼ねなく来て、悩みを話したり、勉強したり、相談できる「**居場所**」を作ることが急務です。どのようにすればよいのか、今は手をこまねいているのが現状ですが、なんとかしなければならぬという強い思いを抱いております。

編集後記

平成 22 年度総会で、これから 2 年間の役員が承認されましたので、役員の一部を報告いたします。

会長	大野 金一（昭 31 高）
副会長	渡邊 光夫（昭 20 中）
同	沼里 征二（昭 33 高）
同	長戸 琴（昭 41 高）
同	幕内 邦夫（昭 43 高）
監事	坪井 洋（昭 27 高）
同	小野 幹夫（昭 46 高）
幹事長	宮崎 好廣（昭 43 高）

総会・懇親会出席者数は、昨年度を上回りました。とくに、平成の卒業者に多く参加していただき、現役の大学生も応援指導部 OB を中心に 6 名を数えました。東進会のこれからは、万々歳のようです。

鈴木貴美子さんは、仕事にも私生活にも人間としての繋がりの大切さを、星川美代子さんには、子どもを取り囲む厳しい環境と大人の役割についての提言を、ご執筆いただきました。お二方を通じて、人間関係の重要性を改めて認識いたしました。（初）